

フードバンクを活用してみませんか



フードバンクとは

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動があります。農林水産省では、まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品（いわゆる食品ロス）を削減するため、こうした取り組みを有効に活用していくことも必要ではないかと考えています。

フードバンクは米国ではすでに40年の歴史がありますが、日本では2000年以降フードバンクが設立されはじめたところです。（参考：農林水産省 HP）

フードバンクプロジェクト@ちたの取組

2013年に常滑市内にオープンした大型商業施設からフードバンク事業への協力を得られることになり、同年9月からセカンドハーベスト名古屋は常滑市社会福祉協議会と地域福祉サポートちたと連携して取組を開始しました。事業開始後3ヶ月で知多半島を中心に27団体が登録し、取扱量は約12トンと順調に運営しています。（参考：NPO法人セカンドハーベスト名古屋PRESS NO.4）

地域福祉サポートちたのできるこ

私たちは、食を通じた地域のつながりを再構築したいと考えています。フードバンクをもっと身近に！地域の人たちが気軽に集まって食事ができて、ゆっくり過ごすことができれば・・・そんな想いをカタチにすることを応援していきます。



2014年3月22日

発行者：特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

〒478-0047

愛知県知多市緑町12-1

TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743

E-mail spchita@ams.odn.ne.jp

URL: <http://fcfs.sunnyday.jp>

平成25年度地域支え合い体制づくり事業（知多市補助事業）
フードバンク連携によるコミュニティ・カフェ立ち上げ促進事業冊子

